

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

(1) 公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
平成21年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	平成23年10月	
平成22年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	平成24年2月	
平成22年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産部門事業概要年報	平成23年5月	
青森県産業技術センター水産総合研究所研究報告 第7号	平成23年10月	
平成22年度海洋観測結果表	平成23年6月	
漁海況予報関係事業結果報告書（資源管理に関する情報の提供） 平成19～21年度	平成23年8月	
平成23年度青森県資源管理基礎調査・浅海定線調査結果報告書	平成24年2月	
ナマコ種苗放流マニュアル	平成24年3月	
未来につなぐ資源管理2012	平成24年3月	青森県と共同発行

(2) 提供情報

情報名	期間及び回数
ウオダス漁海況速報 No. 1731～1765	平成23年4月～平成24年3月（35回、号外35回）
ホタテガイ採苗速報 No. 526～543	平成23年4月～平成24年3月（18回）
同上（東奥日報紙）	同上
ホタテガイ養殖管理情報	平成23年6月～平成24年9月（9回）
同上（東奥日報紙）	同上
貝毒情報	平成23年4月～平成24年3月（33回）
陸奥湾海況情報 No. 823～874	平成23年4月～平成24年3月（52回）
陸奥湾の水温（東奥日報紙）	平成23年4月～平成24年3月（毎日）
ヒラメ稚魚分布密度調査結果	平成23年9月（2回）
H23年漁期（H23年12月～）のハタハタ漁の見通し	平成23年12月（1回）
ヤリイカ冬季来遊群の2011 年漁期の漁況予測結果	平成24年1月（1回）

(3) 青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月日
第7号	平成23年 7月
第8号	平成23年11月
第9号	平成24年 3月

(4) 学会誌発表論文、学会発表

(4) -1 学会誌発表論文

- 1) 佐藤晋一 (2011) 青森県における海洋モニタリングの現状と問題点（レポート）. 日本水産学誌, 78(2), 312-315.
- 2) 五十嵐弘道・淡路敏之・蒲地政文・石川洋一・杉浦望実・増田周平・土居知将・碓氷典久・藤井陽介・豊田隆憲・日吉善久・佐々木祐二・齊藤誠一・酒井光夫・加藤慶樹・佐藤晋一 (2011) 気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化. 土木学会論文集G (環境), Vol. 67, No. 5, I_9-I_15, 2011,
- 3) 小谷健二・今村央 (2011) レプトスコプス科の新系統仮説の提唱. 北海道大学水産科学研究彙報, 61(2/3), 49-63.

- 4) 山本みつ美・大橋慎平・小谷 健二・矢部衛 (2011) 東北沿岸太平洋沿岸から記録された 5 種の魚類. 日本生物地理学会会報, 66, 221-231.

(4) -2 学会発表

- 1) 藤川義一・山田嘉暢・前田高志・四ッ倉典滋・桐原慎二 (2011) 養殖アカモクに認められた 2 年目への再生. 日本応用藻類学会第 10 回大会.
- 2) 藤川義一・桐原慎二・四ッ倉典滋 (2011) 青森県日本海沿岸に生育するホンダワラ属 5 種の季節的消長. 日本応用藻類学会第 11 回大会.
- 3) 前田高志・山田嘉暢・藤川義一・桐原慎二・四ッ倉典滋 (2011) AFLP 分析によるマコンブ産地間の遺伝的多様性の解明と変種識別. 日本応用藻類学会第 10 回大会.
- 4) 五十嵐弘道・淡路敏之・石川洋一・蒲地政文・碓氷典久・藤井陽介・酒井光夫・加藤慶樹・齊藤誠一・佐藤晋一 (2011) 三陸沖におけるアカイカ好適棲息域推定モデルの開発. 2011 年度水産海洋学会.
- 5) 石川洋一・淡路敏之・蒲地政文・齊藤誠一・酒井光夫・佐藤晋一・五十嵐弘道 (2011) 気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化. 2011 年度水産海洋学会.
- 6) 小林慧一・野呂恭成・田永軍・桜井泰憲 (2011) 陸奥湾及び周辺海域における魚類群集の多様性指数・平均栄養段階の長期的変動. 2011 年度水産海洋学会.
- 7) 河野航平・磯田豊・田中淳也・吉田達 (2011) 2010 年夏季に発生した陸奥湾の異常高水温現象. 日本海洋学会.
- 8) 金森誠・馬場勝寿・吉田達・野呂忠勝・千田康司 (2011) 外来種ヨーロッパザラボヤ (二枚貝養殖漁業における新たな脅威). 日本付着生物学会.